

令和6年度 社会福祉法人南砺市社会福祉協議会 事業計画

元日に発生した令和6年能登半島地震により多くの方が被災され、県内でも観測史上最大の震度5強が観測されました。幸い南砺市内では大きな被害に至りませんでした。被害の大きな市町村では災害ボランティアセンターが開設されました。この運営支援に職員の派遣をしております。

さて、新型コロナウイルス感染症が5類感染症に位置づけられてから、市民活動はコロナ前に戻りつつあります。しかし、海外の長引く紛争の影響で経済状況は益々悪化しており、今後も燃料費の高騰や電気料金の値上げ等が懸念されます。

これらの情勢の中、南砺市社会福祉協議会は合併20年を迎えます。第4次南砺市地域福祉活動計画は2年目を迎え、各地区の諸団体との連携をさらに強化し、みなさまと共に活動を進めてまいります。

地域福祉事業では、本年度より市が取り組む、包括的な支援体制作りと複雑化・複合化した支援ニーズに対応した「重層的支援体制整備事業」に関係団体と連携して参入する事としております。また、ボランティア養成事業では「夢叶えるサポーター」として日常の願いや夢を募集し、ボランティア活動希望者とのマッチングを行う事業を始めます。

福祉センター運営については、本年度も利用者の皆様に楽しんでいただくことを基本に運営し、引続き経費節減に取り組みます。

また、介護保険サービス事業では、平・上平・利賀地域の重要な介護施設（市の指定管理受託事業所）の運営を継続してまいります。現在、高齢化による利用者の減少に伴う介護報酬の減少と、介護職員の確保の困難な状況が年々深刻化しています。これらを踏まえ、これからも地域に不可欠なサービス事業として利用者のニーズに応えるため、職員の確保や人材育成を図り、安全・安心な運営に努めてまいります。

【第4次南砺市地域福祉活動計画 実施2年目】

推進項目

(1) 未来につながる担い手を増やそう

- ・障がい者などの生きがいを支える「夢叶えるサポーター」を募集し、地域の新たな人材発掘につなげます。

(2) 顔が見えるつながりをつくろう

- ・welcomeカフェを、外国人に限らず誰もが立ち寄れるカフェとし、相談機能も充実させます。

(3) 健康寿命をのばそう

- ・地域のつながりをつくるため、サロンや地区福祉活動への助成を継続します。
- ・ふれあいいきいきサロンは地域性の高い活動であり、参加者募集などで地域の協力を得て広がるよう見直しをしていきます。

(4) 安心して子どもが育つ地域をつくろう

- ・福祉教育プログラム事業を地域づくり協議会と共催で実施します。
- ・子どもが参加しやすく地域住民と関わりながら楽しく体験できる事業や居場所づくりを推進します。

(5) 助け合い、支え合いながら生活しよう

- ・様々な社会資源を活用し、支え合いのネットワークづくりを進め、個々のニーズに対応する生活支援コーディネーターの活動を進めます。
- ・地域の有償ボランティアによるごみ出し支援活動のモデル事業（3年目）に取り組みます。

(6) 孤立しない相談しやすい環境にしよう

- ・希望が増加している相続相談と休日相談を増やし、毎月実施します。

(7) 生活の困りごとについてみんなで考えよう

- ・ケアネット活動を市全体でさらに周知し、個別支援につなぎます。協力企業間の情報交換を実施します。

(8) 災害時にも活かせるつながりをつくろう

- ・災害時支え合いマップづくりを市内全地区を対象を拡大して実施し、避難行動要支援者登録と連携させて、要支援者と協力者のリストアップを行います。

1 法人運営部門

1 法人運営事業

予算額	6年度	55,182千円	5年度	44,721千円	増減	10,461千円
-----	-----	----------	-----	----------	----	----------

- (1) 本所、サテライトの運営管理
事務所の管理運営及び社協活動車両7台を維持管理する。
- (2) 理事会の開催（年4回程度）
業務執行上の事項及び当面する課題について協議する。
- (3) 評議員会の開催（年3回程度）
業務執行上の重要事項について審議、決定する。
- (4) 評議員選任・解任委員会の開催
理事会の推薦を受けて評議員の選任及び解任について審議、決定する。
- (5) 監査会の開催（年4回）
運営管理、事業の執行状況及び財産の状況についての監査をする。
- (6) 社会福祉法人地域公益活動推進事業
市内の8社会福祉法人が連携して情報交換し、公益的な活動を効果的に実施する。
- (7) 南砺市社会福祉大会の開催
式典において、永年にわたり福祉活動に尽力された方を表彰する。
開催日：令和6年11月中旬
会場：南砺市城端伝統芸能会館「じょうはな座」
- (8) 表彰選考委員会の開催
被表彰候補者推薦書により審査を行い、市社協会長表彰被表彰者を決定する。
- (9) 指定管理者業務に伴う事務の適正管理
平デイサービスセンター、上平デイサービスセンター、利賀デイサービスセンター、五箇山ホームヘルプステーション、平生活支援ハウスの指定管理を受ける。[期間：R6.4.1～R11.3.31]
- (10) 職員研修体制の充実
よりよい支援やサービス提供を行うため、組織内の課題を共有し解決を図るための内部研修を開催する。また、外部研修への参加により職員の資質向上を図る。
- (11) 事業継続計画（BCP）の見直し
事業継続計画の研修を行い、職員の意識の向上を図る。また訓練等により評価と見直しを行い、より実効性のあるものに整えていく。
- (12) 実習生の受入れ、実習指導者の育成
福祉系大学や社会福祉士養成施設から受け入れる実習生に対して、相談援助指導資格をもつ職員を確保するため、実習指導者講習会を受講する。
- (13) 苦情解決体制
苦情受付及び解決に向けて、苦情解決責任者や苦情受付担当者、第三者委員を設置し、適切に対応するための体制を整える。
- (14) 20年誌の発行
設立20周年を記念して、これまでの軌跡をまとめ小冊子を発行する。
- (15) 経営基盤の強化
地域福祉活動推進のため、住民や市内企業等へ社会福祉協議会会員加入及び会費納入を依頼する。また、事業及び会費への理解が得られるよう用途の周知を図る。
- (16) 職員6名の人件費

2 基金運営事業

予算額	6年度	3,305千円	5年度	3,336千円	増減	△31千円
-----	-----	---------	-----	---------	----	-------

- (1) 地域福祉振興積立金の管理
地域づくり協議会等へ助成するための取崩、及び事業収益の積立。

3 退職手当積立事業

予算額	6年度	9,313千円	5年度	9,691千円	増減	△378千円
-----	-----	---------	-----	---------	----	--------

- (1) 全国社会福祉団体職員退職手当基金
職員27名の加入。

2 地域福祉推進部門

4 地域総合福祉活動推進事業

予算額	6年度	33,501千円	5年度	34,686千円	増減	△1,185千円
-----	-----	----------	-----	----------	----	----------

- (1) 第4次南砺市地域福祉活動計画（2年目）の推進
住民参加による地域づくりを計画的に推進する。
また、本会における活動及び活動計画推進の評価を行うとともに、職員によるチーム制で市関係課やなんと未来支援センター等と連携しながら、担当地区の福祉活動計画の推進を図る。
- (2) ケアネットセンターの運営
ケアネット活動を推進するため、ケアネット活動コーディネーター1名と地域担当のコミュニティーソーシャルワーカーを配置。地域づくり協議会や関係機関との連携を密にしながら、事業の周知活動や、支援を必要とする方の相談に対して、地域住民や専門職を交えたケース会議を開催し、事業の推進を図る。
- (3) ケアネット事業助成金の助成
要支援者に対する見守り等の活動費や、活動者を対象とした研修会等の経費として、地域づくり協議会へ上限25万円を助成する。
- (4) ケアネット活動推進連絡会の開催
活動に対する外部評価を受けながら、活動の円滑な実施と改善を図ること、また関係機関との連携による活動推進を図ることを目的に開催する。
- (5) 南砺市社会福祉大会の開催
市内の福祉活動者が一堂に会し、講演や実践発表を通して、地域福祉活動への理解や関心を深める機会として開催する。
- (6) ふくし出前講座の開催
福祉活動への理解と協力を得るため、社協事業の出前講座を地域づくり協議会や自治会、サロン等へ年間を通して実施する。
社協事業を含めた関係機関の出前講座を一覧にまとめ、関係団体へ周知する。
- (7) 車いす移送車貸出事業
日常的に車いすを利用する方の家族等に、車いすのまま乗れる移送車を貸し出すことにより日常生活の利便性と社会参加の促進を図る。
- (8) 職員6名の人件費（ケアネット活動コーディネーター1名を含む）

5 地域福祉ネットワーク事業

【市受託事業】

予算額	6年度	5,570千円	5年度	5,983千円	増減	△413千円
-----	-----	---------	-----	---------	----	--------

- (1) 【拡】災害時支え合いマップづくり事業 ※補足資料参照
災害時に支援を必要とする方を把握し、支援できる人材や避難所等を住宅地図上に記載するマップづくりを、市が進める避難行動要支援者登録と連携しながら推進する。
- (2) いのちのバトン事業
救急医療情報キット「いのちのバトン」の目的や内容を周知するとともに、救急医療情報用紙を全戸配布し医療情報の更新を進める。
- (3) 寄付食品の活用
フードドライブを実施する団体から食品の寄贈を受けた場合に、生活困窮者や必要な方を対象に食品を提供したり、地域の福祉活動や社協の事業で活用する。
- (4) 兼務職員の人件費（一部）

6 総合相談所運営事業				【市受託事業】		
予算額	6年度	939千円	5年度	933千円	増減	6千円

- (1) ふくし総合相談センターの設置
市民の相談を総合的に受ける窓口を設置し、職員が随時対応する。また、専門機関とも連携し、相談内容の解決に努める。
相談カレンダーを作成し、市民への周知を図る。
- (2) 【拡】各種相談の開催
心配ごと相談員による心配ごと相談（4地域、年36回）、弁護士による法律相談（月1回）、司法書士による相続相談（月1回）、職員による休日相談（月1回）を開催する。
- (3) 心配ごと相談員研修会の開催
心配ごと相談員の知識向上やスキルアップのため、研修会を行う。

7 障害者社会参加事業						
予算額	6年度	189千円	5年度	209千円	増減	△20千円

- (1) 障害者理解促進研修・啓発事業 【市受託事業】
市民に向け、障がいへの理解を深めるための講座を開催する。
- (2) ドリンクサービス事業
市内の障がい者施設の方を対象に、地域で行われるサロンや会議においてコーヒー等を出す機会を提供することで社会参加の促進を図る。また、地域住民の障がい者理解を深める。

8 福祉入門事業				【市受託事業】		
予算額	6年度	521千円	5年度	531千円	増減	△10千円

- (1) 手話奉仕員養成講習会 [基礎編 全25回] の開催
聴覚障がいへの理解を深め、手話を用いて日常会話ができるようになることを目指し、手話奉仕員養成講習会（基礎編）を実施する。講師はろう者や手話通訳者など。
※南砺市井波総合文化センター（株式会社ホクタテ高岡支社）へ業務委託する。

9 地区社協助成事業						
予算額	6年度	6,013千円	5年度	5,056千円	増減	△43千円

- (1) 地区福祉活動助成
社協会費と地域福祉振興積立金を活用し、福祉課題の解決に向けて取り組む事業と、継続的に取り組むことを必要とする福祉事業に対して、地域づくり協議会へ助成する。

10 ボランティア助成事業						
予算額	6年度	700千円	5年度	900千円	増減	△200千円

- (1) ボランティア活動団体へ助成
市内で活動するボランティアグループに対し、団体の定期的な活動または団体が企画・開催する交流会や研修会等に必要な費用を助成する。

11 各団体助成事業						
予算額	6年度	1,215千円	5年度	1,245千円	増減	△30千円

- (1) 各種団体活動へ助成
- | | | | |
|------------|-------|-------------|-------|
| 南砺市遺族会 | 738千円 | 南砺市老人クラブ連合会 | 186千円 |
| 南砺市遺族会福光支部 | 140千円 | 井波招魂社奉賛会 | 151千円 |

1 2 高齢者交流サロン事業				【市受託事業】		
予算額	6年度	6,750千円	5年度	6,750千円	増減	0千円

(1) 高齢者交流サロン事業

地域の身近な場所で、参加者相互の交流により介護予防と健康増進を図る。また、地域でのふれあいや助け合い推進の拡大を図る。

- ①集落や地区単位で実施しているサロン団体へ助成と相談、活動支援を行う。
- ②サロンのお世話方を対象にサロン研修会を実施し、活動内容の情報提供などを行う。
- ③サロン活動機材の貸出整備と周知を図る。

1 3 高齢者生きがい対策事業				【市受託事業】		
予算額	5年度	539千円	4年度	537千円	増減	2千円

(1) スポーツ教室等委託事業

井波、井口、福野、福光の4地域で実施。スポーツや娯楽を通して健康づくりや、生きがいを持って生活を送ることを目的に実施する。

1 4 高齢者相談対策事業						
予算額	6年度	5,061千円	5年度	4,923千円	増減	138千円

(1) 生活支援コーディネーター活動事業 【市受託事業】

生活支援コーディネーターを5名配置し、第2層圏域でのネットワークや既存の取り組みを活用しながら地域の支援ニーズとサービスをつなぐ等のコーディネート業務を実施する。

(2) 高齢者の総合相談窓口業務、実態把握事業 【市受託事業】

市地域包括支援センターからの依頼により、自宅訪問による実態把握調査を実施する。また、高齢者に関する相談ケースについて、包括システムを活用し関係機関と情報共有を図る。

(3) ごみ出し支援モデル事業（3/3年目）

身体機能や認知機能の低下により自力でのごみ出しが困難な世帯を対象に、地域の協力員が有償で支援を行う地区へ助成金を交付する。

1 5 ボランティアセンター運営事業						
予算額	6年度	878千円	5年度	851千円	増減	27千円

(1) ボランティアセンターの運営、センターの基盤強化

- ①ボランティアセンター運営委員会を設置し、関連事業について意見交換を行う。
- ②ボランティアセンター登録、ボランティア保険の加入受付等の手続きのほか、ボランティア活動のコーディネートや助成金申請等の相談支援を行う。
- ③ホームページ、ブログ、インスタグラムを活用した情報発信に努める。

(2) 福祉教育の推進、ボランティア活動参加の促進

- ①地域のつながりづくりや人材育成の一環として当事者や福祉関係職員から直接話を聞き、一緒に交流が出来る複数回の「ふくし教育プログラム」を地区など小さな単位で実施する。
- ②福祉教育・ボランティアを担当する教職員を対象に研修会を開催する。

(3) 【強】災害ボランティア活動の推進 ※補足資料参照

- ①地域づくり協議会や災害時連携協定団体へ呼び掛け、災害ボランティアセンターの役割、運営方法について学び、センター立ち上げ訓練を実施する。
- ②災害ボランティアセンターをスムーズに運営できるよう、ICTの導入を検討する。

- (4) 【新】ボランティア活動者の養成 ※補足資料参照
- ①生きがいをサポートする「夢叶えるサポーター」ボランティアを養成し、誰もが地域でいきいきと生活できる仕組みをつくる。
 - ②ボランティア活動をしてみたい方へ活動先を提供し、市民のボランティア活動の増進を図る。
- (5) ボランティア受入れ施設との連携強化
- ①ボランティアを受け入れている施設の相談支援をする。
 - ②施設職員を対象にボランティア受入れ研修会を開催し、研修・情報交換を行う。

16 ボランティアコーディネーター設置事業

予算額	6年度	17,871千円	5年度	19,854千円	増減	△1,983千円
-----	-----	----------	-----	----------	----	----------

- (1) ボランティアコーディネーターの設置
職員4名をボランティアコーディネーターとして設置し、ボランティア活動の推進を図る。

17 児童生徒のボランティア活動普及事業

予算額	6年度	947千円	5年度	959千円	増減	△12千円
-----	-----	-------	-----	-------	----	-------

- (1) 児童・生徒のボランティア活動普及事業
市内の小中学校、義務教育学校、高等学校、総合支援学校（全19校）を福祉教育推進校とし、ボランティア活動普及のための補助金を交付する。

18 共同募金配分事業

予算額	6年度	6,213千円	5年度	5,248千円	増減	965千円
-----	-----	---------	-----	---------	----	-------

- (1) 広報紙の発行
社協の事業や地域の福祉活動、ボランティア情報などを地域の方へ広く伝えるため、隔月で広報紙を発行し、全戸配布する。
- (2) だれでもサロン支援事業
年齢や障がいの有無に関わらず、地域の身近な場所で誰もが気軽に集える居場所づくりに取り組む団体に対して助成し、活動支援を行う。
- (3) 【改】welcomeカフェ
年齢、障がい、国籍等を問わず、誰もが立ち寄り相談できる居場所づくりを目的にカフェを実施する。
- (4) 【改】憩いのステーション 縁の木
地域で孤立している方の日中の居場所づくりを目的として定期的開催。参加者のペースで過ごせる居場所を提供し、社会参加のきっかけづくりを行うとともに、職員が常駐することで、気軽に立ち寄り、悩みを相談できる場所として開放する。
- (5) 7 障害者社会参加促進事業へ繰出し（ドリンクサービス事業）

19 生活困窮者自立支援事業

予算額	6年度	6,359千円	5年度	6,757千円	増減	△398千円
-----	-----	---------	-----	---------	----	--------

- (1) 家計改善支援事業 【市受託事業】
関係機関と連携し、生活困窮者の家計収支等に関する課題の評価・分析を行い、状況に応じた家計再生プランを作成する。また、滞納の解消や各種給付制度等の利用に向けた支援、債務整理に関する支援、貸付の斡旋等を行う。
- (2) 生活困窮者支援給付事業
生活に困窮している世帯を対象に、相談支援を行い、状況に応じて必要な金品を給付する。また、関係機関と連携し、対象世帯の自立や安定した生活に向けて、継続的に支援する。
- (3) 職員1名（相談支援員として市へ派遣）の人件費

20 日常生活自立支援事業				【県社協受託事業】		
予算額	6年度	17,979千円	5年度	24,642千円	増減	△6,663千円

(1) 日常生活自立支援事業

高齢や障がい等により福祉サービスの利用手続きや日常的な金銭管理を自分ひとりの判断で行うことに不安のある方に対して、生活支援員が定期的に訪問し、日常生活上の様々な手続きや金銭管理等の支援を行う。また、専門員を配置し、利用希望者に対する早期の相談支援、困難事例への対応強化を図る。

(2) 職員の事例検討会の開催

職員の担当ケースについて、情報共有や事業間連携を図るため開催する。

(3) 南砺市生活支援員登録者研修会の開催

市内の生活支援員登録者を対象に、利用者及び対人援助技術の向上、生活支援員相互の情報交換・交流を図ることを目的として開催する。

(4) 職員4名（専門員）の人件費

21 生活福祉資金貸付事務事業				【県社協受託事業】		
予算額	6年度	6,523千円	5年度	527千円	増減	5,996千円

(1) 県社協生活福祉資金の貸付事務

生活困窮世帯、低所得世帯、障がい者または高齢者の属する世帯に対し、県社協への資金の貸付手続きと、自立のために必要な相談支援を行う。

(2) 緊急小口資金等の特例貸付の償還事務

新型コロナウイルス感染症の影響に伴う特例措置として行われた生活福祉資金貸付の償還が令和5年1月より開始。償還事務手続き及び借受人の生活状況に応じた相談支援を行う。

(3) 兼務職員の人件費（一部）

22 小口資金貸付事業						
予算額	6年度	38千円	5年度	35千円	増減	3千円

(1) 市生活支援資金貸付事業償還事務

本事業の利用者に対し償還を働きかけるとともに、経済的な自立と生活の安定を図るための相談支援を行う。

3 福祉センター等運営部門

23 福野老人福祉センター運営事業

予算額	6年度	16,125千円	5年度	16,700千円	増減	△575千円
-----	-----	----------	-----	----------	----	--------

- (1) 福野老人福祉センター「さつき荘」の運営
入浴施設を有する高齢者の憩いと健康増進を図る場として管理運営する。
- (2) 利用しやすく親しみのある施設運営の取り組み
カラオケや囲碁将棋、軽体操、脳トレ等、毎日いずれかの事業を取り入れ利用促進を図る。
- (3) 職員2名の人件費
施設長1名、施設管理員1名

24 福光老人福祉センター運営事業

予算額	6年度	29,470千円	5年度	23,738千円	増減	5,732千円
-----	-----	----------	-----	----------	----	---------

- (1) 福光老人福祉センター「福光温泉」の運営
温泉施設を有する高齢者の憩いと健康増進を図る場として管理運営する。
- (2) 利用しやすく親しみのある施設運営の取り組み
施設の一部を食堂に賃貸し、集客につながるよう施設活用を図る。
福祉団体の入浴料及び休憩料の団体割引制度を実施し、福祉活動の場として活用を図る。
- (3) 職員3名の人件費
施設長1名、施設管理員2名

25 井波社会福祉センター運営事業

予算額	6年度	13,538千円	5年度	12,658千円	増減	880千円
-----	-----	----------	-----	----------	----	-------

- (1) 井波社会福祉センターの運営
各種団体の集会場・趣味の場として管理運営する。
- (2) 利用しやすく親しみのある施設運営の取り組み
児童生徒が気軽に集える交流の場として、施設の一部を開放する。設置要望の多い3室にWi-Fiアクセスポイントを設置し、各団体の活動利便性の向上を図る。
利用者の要望や感想等の声に耳を傾けるとともに、各種団体へ利用促進を働きかける。
- (3) 職員3名の人件費
施設長1名、施設管理員1名、清掃員1名

26 井口社会福祉センター運営事業

予算額	6年度	3,948千円	5年度	3,844千円	増減	104千円
-----	-----	---------	-----	---------	----	-------

- (1) 井口社会福祉センターの運営
各種団体の集会場・趣味の場として管理運営する。
※井口地域づくり協議会へ管理運営業務を委託する。

27 すぱーく福野運営事業

予算額	6年度	1,926千円	5年度	1,681千円	増減	245千円
-----	-----	---------	-----	---------	----	-------

- (1) 屋内ゲートボール場「すぱーく福野」の運営
高齢者の生きがいがづくりと健康増進を図る場として管理運営する。
※福野ゲートボール協会へ管理運営業務を委託する。
- (2) 利用促進のための取り組み
各地区のゲートボール協会団体を通して利用を呼びかけるとともに、人工芝の全天候型2面コートの特長を生かして大会開催等の利用促進を図る。

4 介護保険等サービス部門

28 ホームヘルプ事業		【市指定管理】	
予算額	6年度 11,832千円	5年度 12,974千円	増減 Δ1,142千円

(1) 五箇山ホームヘルプステーションの運営

指定管理期間：令和6年4月1日～令和11年3月31日（1/5年目）

(2) 提供するサービス

①訪問介護

ホームヘルパーが居宅を訪問し、入浴、排泄、食事などの身体介護や調理、掃除、洗濯、買物などの生活援助を行う。

②介護予防・日常生活支援総合事業第1号訪問事業

利用者が自力で困難な行為について、ホームヘルパーによるサービスを提供する。

③障害福祉サービス

障害者の日常生活及び社会を総合的に支援する法律に基づき、居宅において日常生活を営むことができるよう身体介護や生活援助、相談及び助言を行う。

(3) 職員2名の人件費

29 デイサービスセンター運営事業		【市指定管理】	
予算額	6年度 111,628千円	5年度 114,300千円	増減 Δ2,672千円

(1) 平、上平、利賀デイサービスセンターの運営

指定管理期間：令和6年4月1日～令和11年3月31日（1/5年目）

(2) 提供するサービス

①地域密着型通所介護

入浴、食事などの日常生活上の支援や生活行為向上のための支援を日帰りで行う。

②介護予防・日常生活支援総合事業第1号通所事業

日常生活上の支援などを行う共通的サービスと、生活機能向上活動の場を提供する。

③障害福祉サービス

障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づき、日常生活上の世話や機能訓練、相談及び助言を行う。

④運営推進会議の開催

事業所が利用者、利用者の家族、地域住民の方々に対して、提供しているサービス内容を明らかにすることを目的とし、各事業所が自ら設置する会議を6か月に1回以上、定期的に開催する。

(3) 職員16.5名の人件費

管理者3名、生活相談員3名、看護師2名、介護士5.5名、調理員3名

30 生活支援ハウス運営事業		【市指定管理】	
予算額	6年度 8,485千円	5年度 6,397千円	増減 2,088千円

(1) 生活支援ハウスの運営

指定管理期間：令和6年4月1日～令和11年3月31日（1/5年目）

(2) 提供するサービス

高齢者の福祉増進を図るため、介護支援機能、居住機能及び交流機能を総合的に提供する。

(3) 職員0.5名の人件費